

総合安全保障研究科前期課程第17期学生 選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

- 問1 最近の米国のアジア太平洋への「リバランス(rebalance)」について、国際関係論の概念や理論を援用しつつ、知るところを述べよ。
- 問2 メアリー・カルドー(Mary Kaldor)は、近年戦われている戦争は従来のものとは3つの点で異なっているとし、「新しい戦争(New War)」という概念を提唱している。その3つの点とは、①戦争目的が領土を巡る戦いではなくアイデンティティを巡る戦いとなっていること、②主な戦争遂行手段がゲリラ戦やテロリズムとなっていること、③戦争の資金供給源として国際犯罪が利用されるようになっていること、とされる。こうした考え方の有効性と限界について述べよ。

国際政治史

次の2問に答えよ。

- 問1 冷戦期には何度かのデタントと呼ばれる時期があったが、そのなかでヨーロッパを中心に起こったデタントの動きをとりあげ、その経緯(事実関係)と冷戦史における意味について簡潔にまとめなさい。
- 問2 第2次世界大戦末期における連合国の戦後アジア構想に触れた上で、冷戦初期、任意の地域について、それが崩壊する過程について述べられたい。

公共経済学

次の2問に答えよ。

問1 独占企業の料金規制の必要性和手法について論じよ。また、その際「総括原価方式」の是非に触れよ。

問2 戦後一貫してわが国の防衛関係費は、1987年から続く3年間を除くと、対GDP(GNP)比1%以内に収まっている。わが国の防衛力の整備に関するコストと便益の内容を具体的に示しながら、この事実の意味を経済学的に論じよ。

憲 法

次の2問に答えよ。

問1 最高裁判所は、公務員の基本的人権の保障とその制約のあり方について、いかなる判例法理を示してきたか。その基本的枠組みを説明しなさい。

問2 公の緊急事態が宣言された場合の基本的人権の制限について論じなさい。なお、市民的及び政治的権利に関する国際規約(自由権規約)と日本国憲法の関係について言及すること。

国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 民間船舶と民間航空機は、その旗国の領土外を通航するにあたり、どのような国際法上の制約に服するか。論ぜよ。

問2 内戦の規制に関する国際法上の諸制度について論じなさい。

組織管理論

次の2問に答えよ。

問1 ①組織・集団における人間心理・人間行動についての理論・学説を、できるだけ体系立てて紹介・説明しなさい。

②組織のリーダーや管理職が、部下たちのモチベーションを高める方法について議論しなさい。論述にあたっては、関係する理論・学説についてできるだけ多く言及し、具体例を豊富に挙げるとともに、結論の根拠を明確に示して、平易な文章でわかりやすく説明すること。

問2 職能制組織と事業部制組織の長所と短所についてそれぞれ説明しなさい。

行政学

次の2問に答えよ。

問1 官職の任用の仕方には、「情実任用制」と「資格任用制」がある。このそれぞれについて説明しなさい。またアメリカにおいて、この二つの制度がどのように用いられてきたかについて述べなさい。

問2 日本の中央省庁の意思決定方式の特徴について論述せよ。